



にじいろ便り 第9号

社会福祉法人 楽山会 第二稚の実子児の家
H27年12月1日(火)

新年に向けてカウントダウン！日頃の忙しさにプラスして、年末は今年中にやっておきたい用事が沢山ありますよね！そんな時に流行病にかかっては、大変！いつもより、手洗い・うがいを徹底しウィルスに用心していきましょう。

□ 出産を迎える親の体験学習

離乳食講習会

ゴックン期～モグモグ期頃
日にち/1月22日(金)
時間/10:30～11:30
持ち物/室内履き・靴を入れるビニール袋
★参加費無料！

年末保育

12/29(火)～31(木)年末保育を行います。ご利用の場合は12/18(金)までに事前にお電話でお申込みください。

● お問い合わせ、参加ご希望の方、年末保育のお申込みは、お電話ください。電話/0422-44-4103(担当:竹内・阿部)

□ クリスマスに簡単お菓子！ ～いちごサンタ～



- 材料/いちご・ホイップクリーム・チョコペン
- ① いちごを2/3のあたりでカット
 - ② ホイップクリームを絞り、サンタさんの顔部分にします。
 - ③ 帽子になるイチゴの先端部分を乗せ、その上にホイップクリームをちょこっと絞り帽子のボンボンにします。
 - ④ チョコペンで顔を描いたらできあがり！



小さなものへの 関心って？



小さなものへの敏感期

2歳～3歳

第8号にある「感覚の敏感期」と関係し、触覚・味覚・嗅覚・聴覚・視覚の五感を必要とし、より複雑な情報を正確に取り込んでいきます。

この時期、子どもは普通の刺激ではなく、かなり注意しなくては感覚器官に入ってこないような刺激に興味を持ち、微かな違いをくらべます。

例えば、公園でじっと小さな木の実を一心に摘んだり、アリの行列を長時間見つめていることがあります。これは、小さなものを見続けることによって目という感覚器官を刺激し、五感を育てようとしているのです。また、大人が気づかないような微かな音、例えば、はるか上空を飛ぶヘリコプターの音に気づいて指摘するなどの行為も、耳という感覚器官を育てる同様の行為です。

子どもは小さくて細かなものに対する関心が非常に高いので、わずかな違いやニュアンス(雰囲気)にも気づくことができるのですね！

この時期に家庭ですてあげたいこと

大人にとっては小さい虫や、持ち帰りたくない石や木の実を、大人のマイナスの価値観で、子どもに押し付けないよう配慮を心掛けましょう。危険が及ばない範囲で、できるだけ様々な生き物や物質に触れる機会を与えてあげると良いですね！



一時預かりやっています！



お仕事や、お子様を連れて行くことが出来ないお出かけの時、大人のリフレッシュ時間などご利用いただけます。

問合せ先/0422-44-4103(担当/阿部)